

2024年3月期 第1四半期 決算説明会



2023年8月3日

株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション

2024年3月期 第1四半期決算状況

2024年3月期 第1四半期決算におけるポイント	4
1. 売上高・利益	5
2. セグメント別業績	7
- 自動車電池（国内）	8
- 自動車電池（海外）	9
- 産業電池電源	10
- 車載用リチウムイオン電池	11
- 特殊電池およびその他	12
3. 貸借対照表	13
4. トピックス	14

2024年3月期 第1四半期決算状況

2024年3月期 第1四半期決算におけるポイント



2024年3月期 第1四半期業績 (4-6月)

	2022 年度 第1四半期 (4-6月)	2023 年度 第1四半期 (4-6月)	増減	前年比
売上高	1,114 億円	1,205 億円	+91 億円	+8.2 %
営業利益	36 億円	48 億円	+12 億円	+35.5 %
のれん等償却前営業利益	38 億円	49 億円	+11 億円	+29.0 %
経常利益	22 億円	49 億円	+27 億円	+119.7 %
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6 億円	16 億円	+10 億円	+169.3 %
のれん等償却前 親会社株主に帰属する 四半期純利益	9 億円	17 億円	+8 億円	+99.2 %

業績の動向

- 売上高および営業利益は、主にハイブリッド車用リチウムイオン電池の販売数量の増加や、販売価格是正の取り組みにより増加しました。
- 経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は、持分法による投資損益や為替差損益の改善などにより増加しました。

業績予想の修正

2023 年度 第2四半期累計予想 (2023.5予想値)	2023 年度 第2四半期累計予想 (2023.8修正値)	増減
2,600 億円	2,600 億円	±0 億円
80 億円	90 億円	+10 億円
-	-	-
60 億円	70 億円	+10 億円
15 億円	25 億円	+10 億円
-	-	-

業績予想の修正ポイント

- 自動車電池（国内）や産業電池電源で売価見直しが進んだことに加え、エネルギー費用などが減少
- 特殊電池およびその他の航空機用リチウムイオン電池の好調や管理部門の経費削減
(通期に関しては状況が不透明なため据え置き)

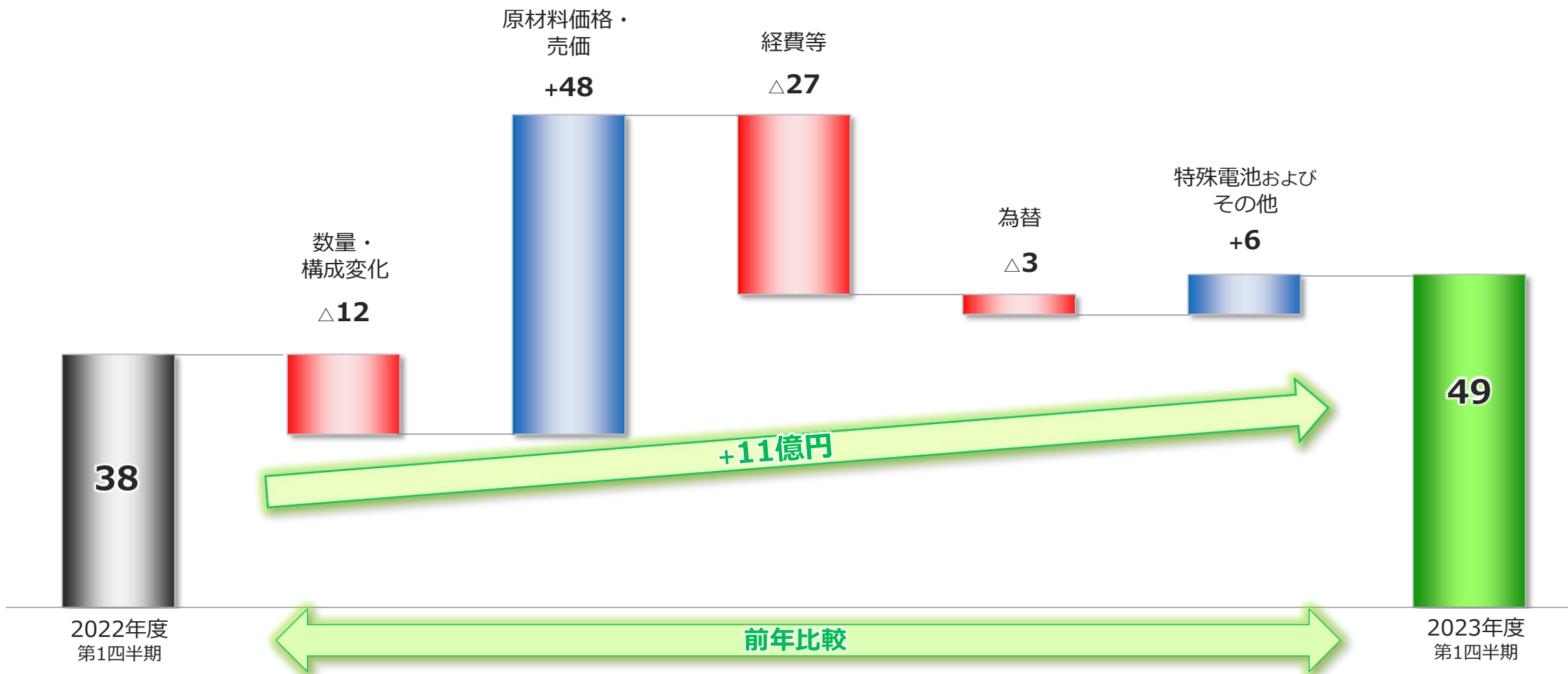
1. 売上高・利益

	2022 年度 第1四半期 (4-6月)	2023 年度 第1四半期 (4-6月)	増減 (前期比)	(億円)	[参考] 2023 年度予想 (2023.5予想値)
売上高	1,114	過去最高 1,205	+91 (+8.2%)		5,800
売上総利益	241	258	+17		-
営業利益 (営業利益率)	36 3.2%	過去最高 48 4.0%	+12 (+35.5%) +0.8P		330 5.7%
のれん等償却前営業利益 (のれん等償却前営業利益率)	38 3.4%	過去最高 49 4.1%	+11 +0.7P		340 5.9%
経常利益	22	過去最高 49	+27 (+119.7%)		270
特別利益	10	4	△6		-
特別損失	1	7	+6		-
税前四半期純利益	31	47	+16		-
法人税等	13	15	+2		-
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	15	+3		-
親会社株主に帰属する四半期純利益 (四半期純利益率)	6 0.5%	16 1.4%	+10 (+169.3%) +0.9P		140 2.4%
のれん等償却前親会社株主に帰属する四半期純利益 (のれん等償却前四半期純利益率)	9 0.8%	17 1.4%	+8 +0.6P		150 2.6%
国内鉛建値 (万円/t)	34.82	35.60	+0.78		34.6
L M E (US\$/t)	2,203	2,118	△85		2,100
為替 (円/US\$)	131.25	139.63	+8.38		135.00

1. 売上高・利益

営業利益増減要因（前年比較）

（億円）



(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益です。

2. セグメント別業績

		2022 年度 第1四半期 (4-6月)		2023 年度 第1四半期 (4-6月)		増減		(億円) [参考] 2023 年度予想 (2023.5予想値)	
		売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:P)	売上高	営業利益 (利益率:%)
自動車 電池	国内	177	10 (5.4)	196	10 (5.2)	+19	+0 (△0.2)	940	55 (5.9)
	海外	600	30 (5.0)	584	28 (4.7)	△16	△2 (△0.3)	2,520	150 (6.0)
産業電池電源		170	△5 (△3.1)	179	2 (0.8)	+9	+7 (+3.9)	1,110	90 (8.1)
車載用 リチウムイオン電池		124	4 (3.1)	195	4 (2.2)	+71	+0 (△0.9)	1,030	40 (3.9)
特殊電池およびその他		44	0 (0.2)	52	6 (10.9)	+8	+6 (+10.7)	200	5 (2.5)
合計		1,114	38 (3.4)	1,205	49 (4.1)	+91	+11 (+0.7)	5,800	340 (5.9)

23年度 第1四半期実績

- 自動車生産は新型コロナ禍や半導体不足影響の緩和により増加
- 鉛価格動向はLMEは安定的に推移も、円安影響を受けて国内鉛建値は高止まり
(LME：前年2,203⇒2,118US\$/t、国内鉛建値：前年34.8⇒35.6万円/t)
- 為替は円安基調が継続 (前年131.25⇒139.63円/US\$)

(注1) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

(注2) 2023年度より、従来「産業電池電源」に含まれていた一部の連結子会社について、「特殊電池およびその他」に変更しております。2022年度1Qは、変更後のセグメントにより記載しております。

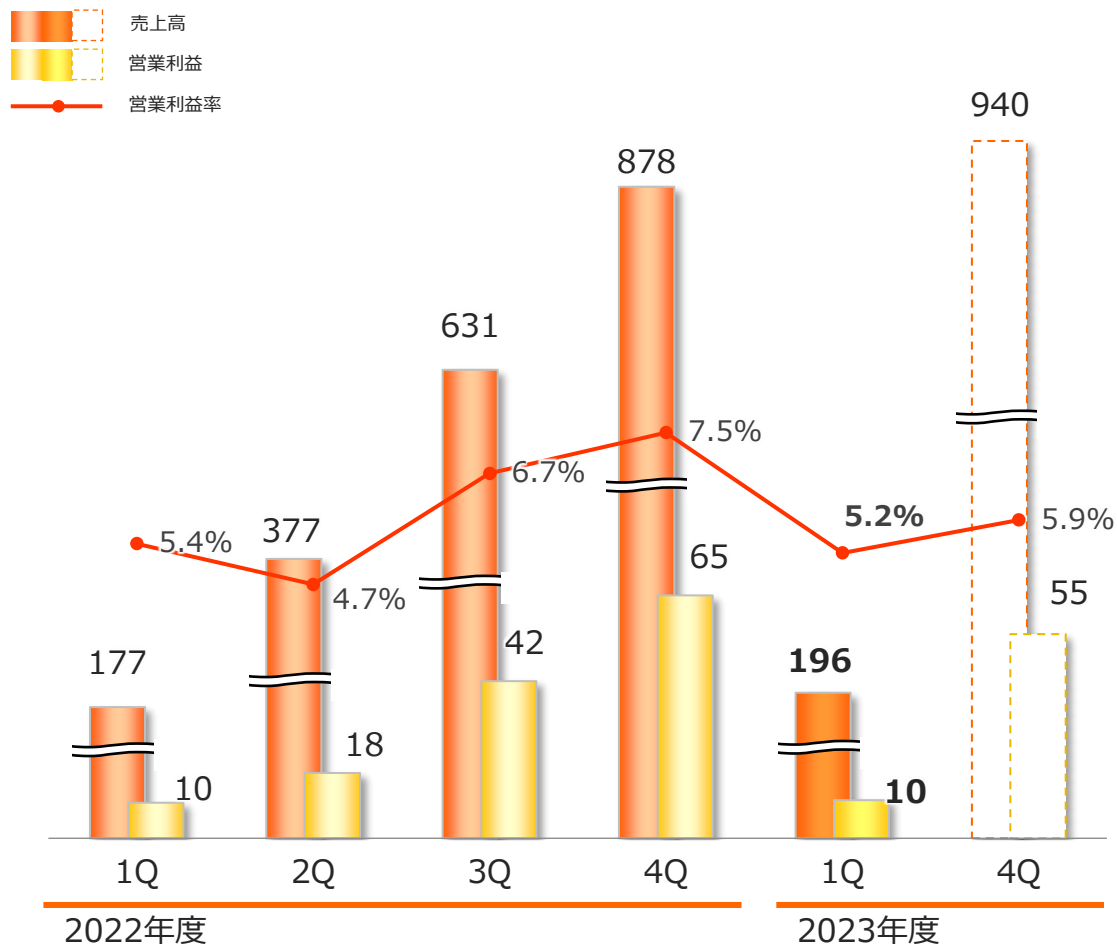
2. セグメント別業績（自動車電池（国内））

自動車電池（国内）

増収増益

売上高・営業利益・利益率

（億円）



(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

2023年度 第1四半期商況（4-6月）

- ▶ [新車向け] 半導体不足の緩和による新車メーカー生産回復により販売数量が増加
- ▶ [補修向け] 新車向け需要の回復により販売数量は減少するも、売価見直しなどにより売上高は前年並みを維持

増減益要因（4-6月）

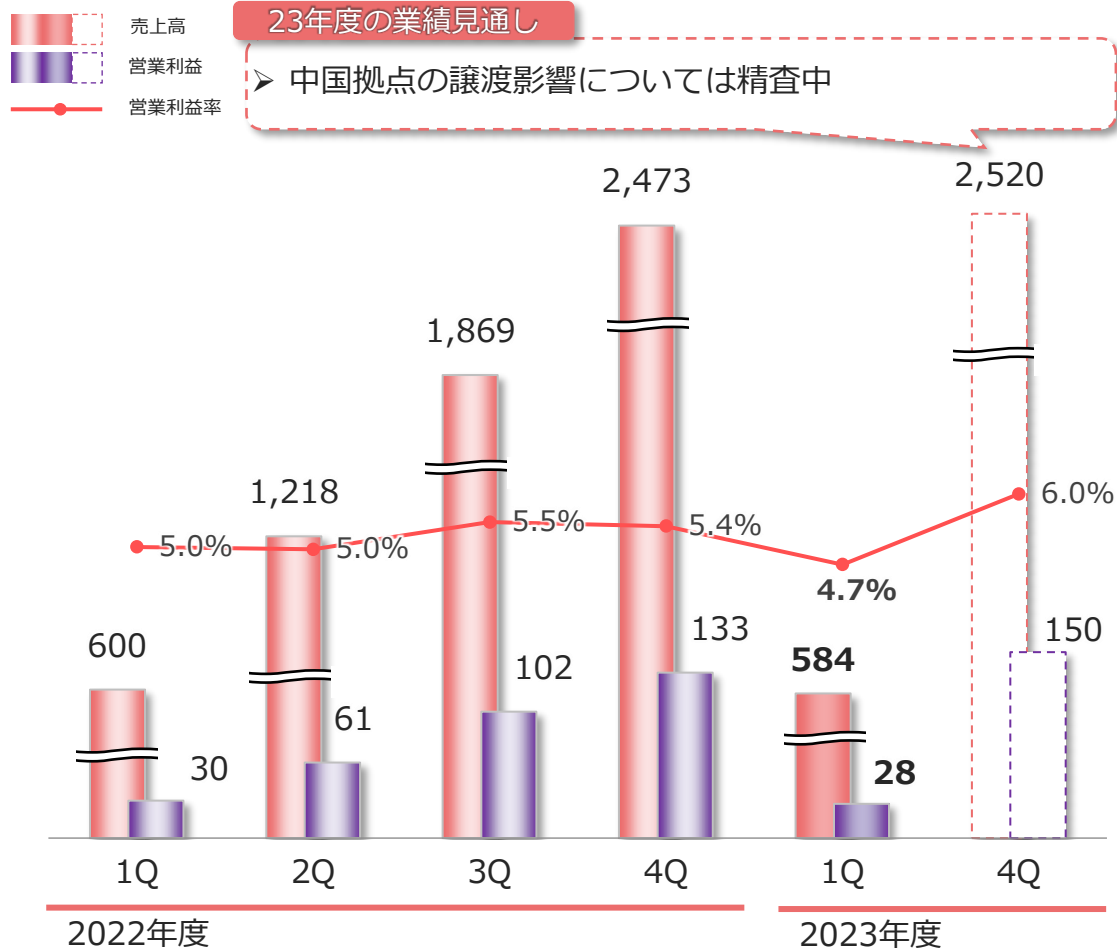
数量・構成変化	△1	製品構成の変化による減少
原材料価格・売価	+3	売価見直しにより増加
経費等	△1	

2. セグメント別業績（自動車電池（海外））

自動車電池（海外）

減収減益

売上高・営業利益・利益率 (億円)



(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。

2023年度 第1四半期商況 (4-6月)

- [東南アジア] ↓
自動車用、オートバイ用ともに販売数量が減少
- [欧州] ↑
自動車用販売数量は前年並みで推移するも、売価見直しにより売上高は増加
- [中国] ↓
主として新車用販売数量が減少

増減益要因 (4-6月)

数量・構成変化	△27	主にインドネシアでの物量減
原材料価格・売価	+35	コスト上昇の売価反映により増加
経費等	△8	インフレ影響による経費増加
為替	△3	トルコリラ安の影響

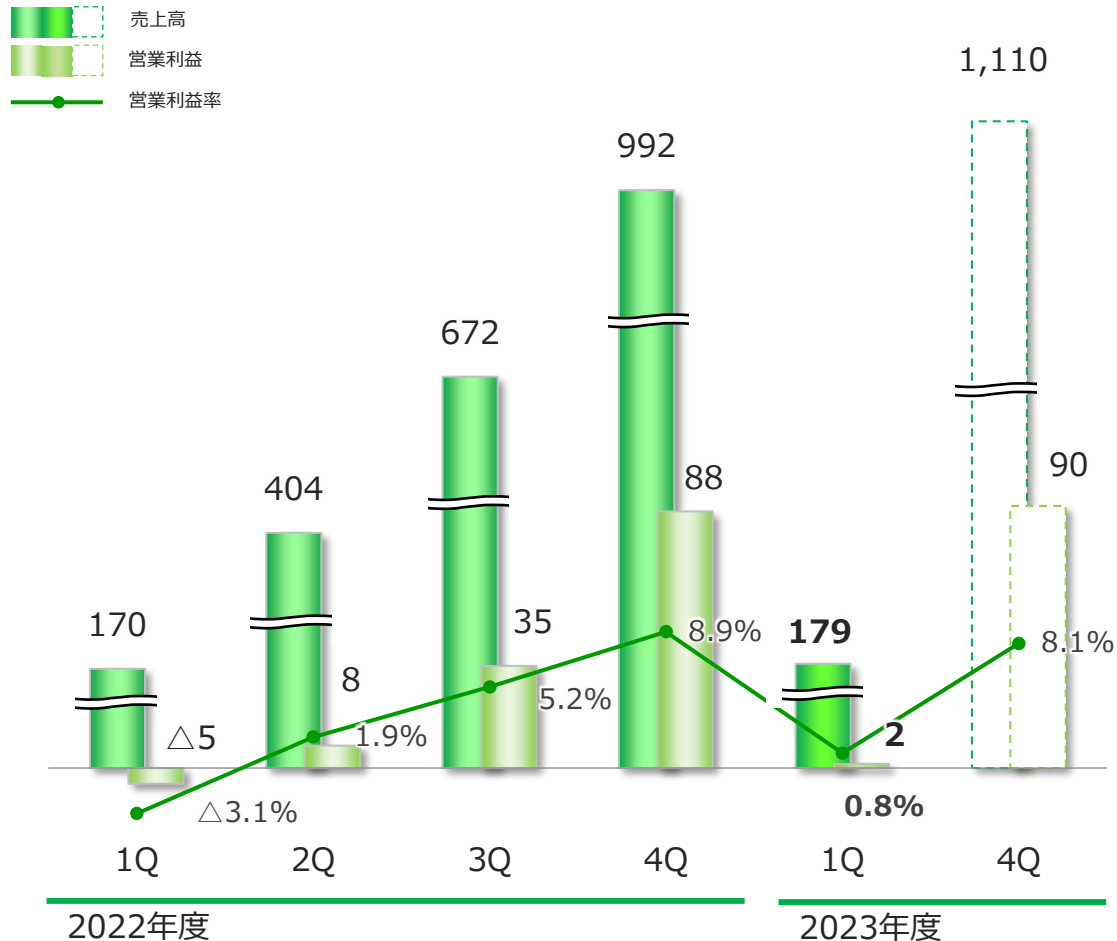
2. セグメント別業績 (産業電池電源)

産業電池電源

増収増益

売上高・営業利益・利益率

(億円)



2023年度 第1四半期商況 (4-6月)

- ▶ [常用 (国内)] 2022年度下期より販売開始の蓄電システムの販売が増加
- ▶ [非常用 (国内)] バックアップ用電池電源装置は売価見直し、主として民需向けが堅調に推移した影響により売上高は前年並みを維持
- ▶ [フォークリフト用 (グローバル)] 国内販売数量は減少するも、売価見直しなどにより売上高は増加

増減益要因 (4-6月)

数量・構成変化	+0	
原材料価格・売価	+7	売価見直しにより増加
経費等	△0	

(注) 2023年度より、従来「産業電池電源」に含まれていた一部の連結子会社について、「特殊電池およびその他」に変更しております。2022年度1Qは、変更後のセグメントにより記載しております。

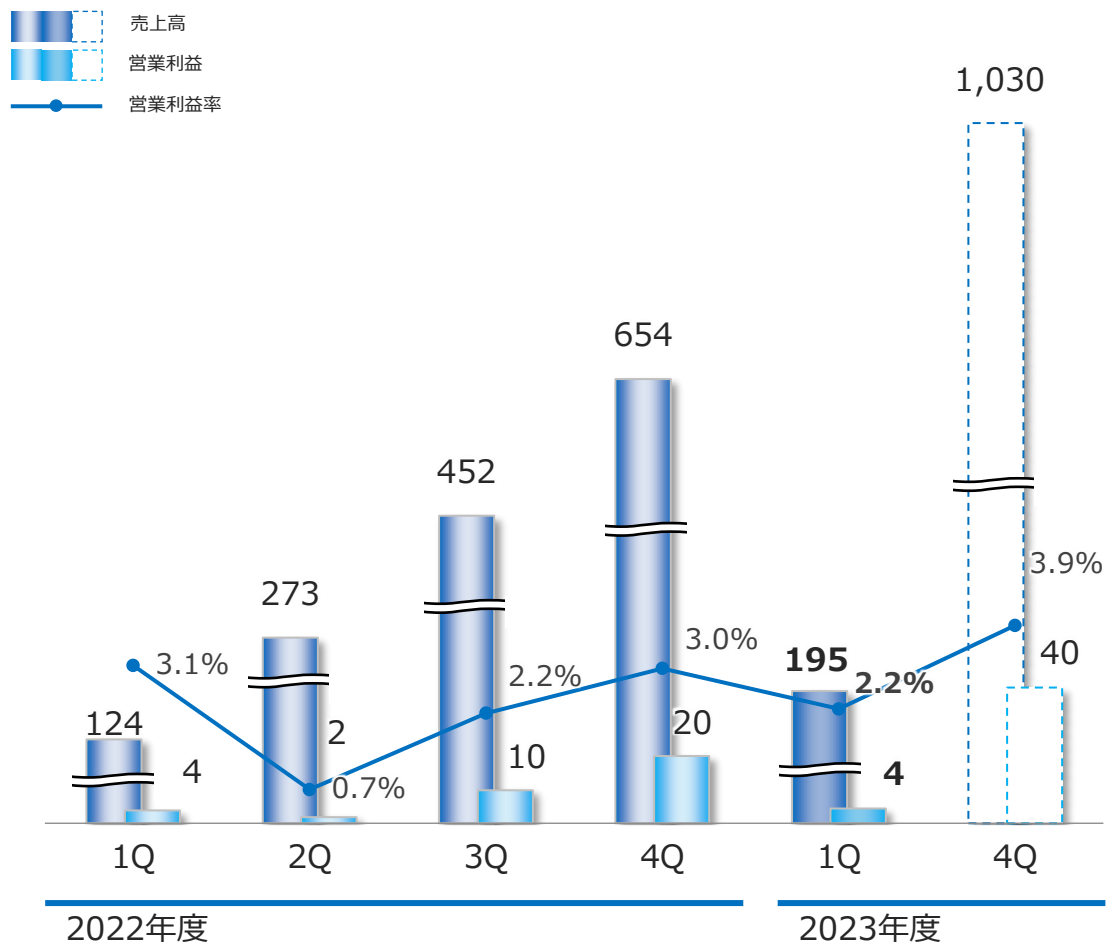
2. セグメント別業績 (車載用リチウムイオン電池)

車載用リチウムイオン電池

増収増益

売上高・営業利益・利益率

(億円)



2023年度 第1四半期商況 (4-6月)

- [HEV] ↗
半導体不足緩和による新車メーカー生産回復、BECの生産体制強化により販売数量が増加
- [PHEV] ↗
半導体不足緩和による新車メーカー生産回復により販売数量が増加

増減益要因 (4-6月)

数量・構成変化	+16	HEV・PHEV用LiBの販売増加
原材料価格・売価	+3	販売価格の見直しにより増加
経費等	△18	BEC第2工場稼働や物量増に伴う経費増加、BEV研究開発費増加

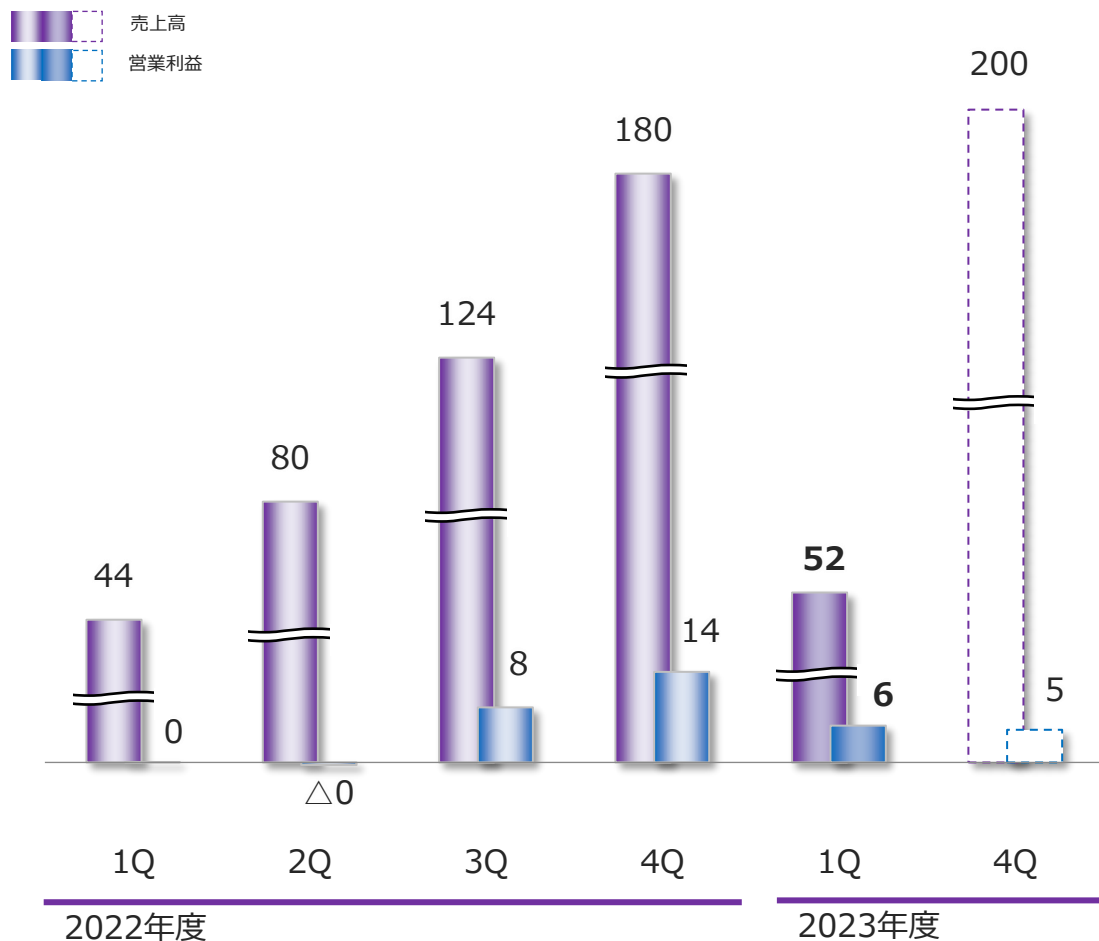
2. セグメント別業績 (特殊電池およびその他)

特殊電池およびその他

増収増益

売上高・営業利益

(億円)



2023年度 第1四半期商況 (4-6月)

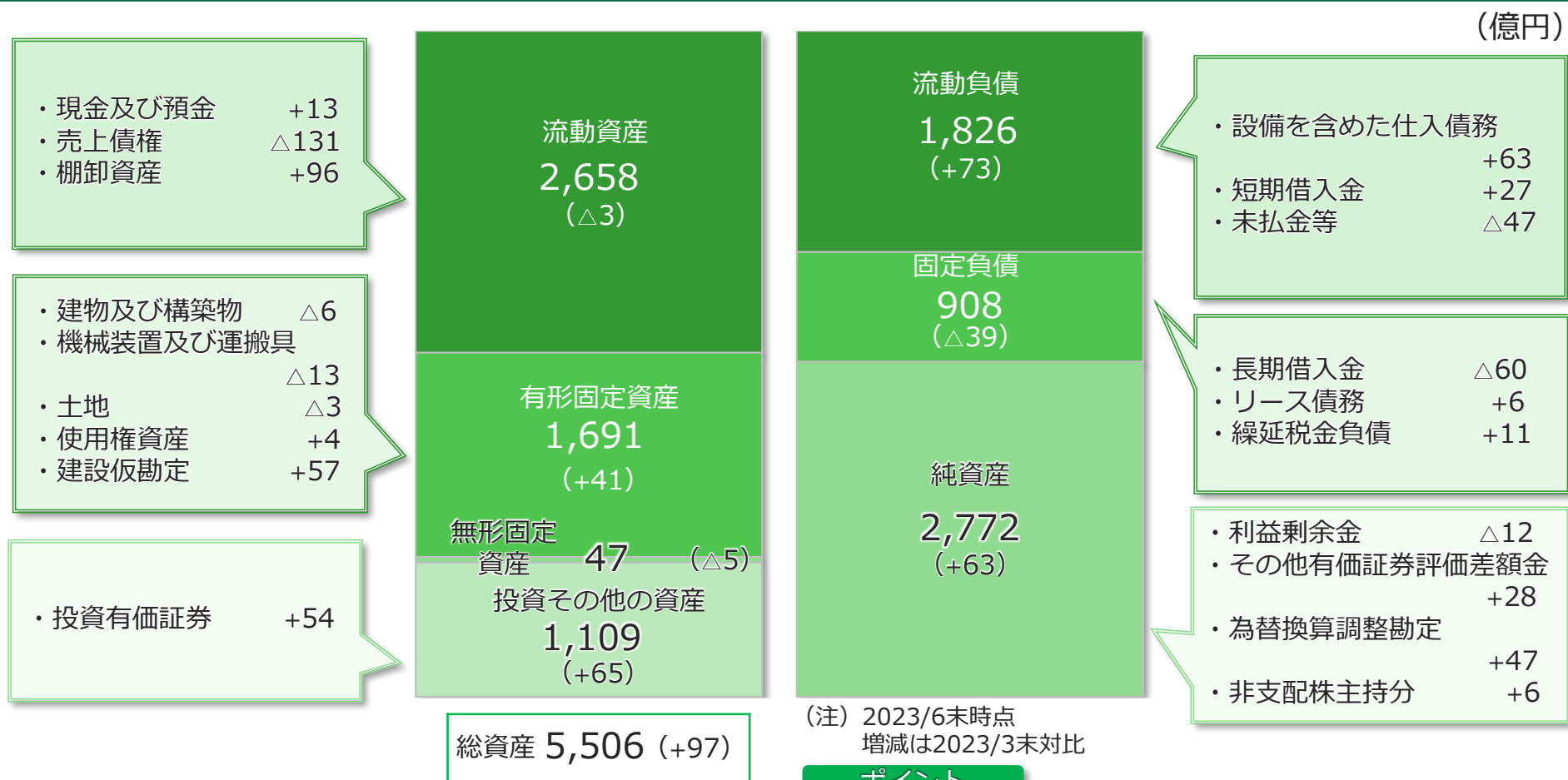
- ▶ [航空機用リチウムイオン電池] 主としてエアライン（補修）向け販売数量が増加
- ▶ [潜水艦用リチウムイオン電池] 進行基準売上が堅調に推移
- ▶ [膜事業] 2023年度より、産業電池電源セグメントから移管

増減益要因 (4-6月)

航空機用エアライン（補修）向け販売増加ならびに経費の減少により増益

(注) 2023年度より、従来「産業電池電源」に含まれていた一部の連結子会社について、「特殊電池およびその他」に変更しております。2022年度1Qは、変更後のセグメントにより記載しております。

3. 貸借対照表



(注) 2023/6末時点
増減は2023/3末対比

ポイント

- ▶ ブルーエナジー第2工場の増産投資や本社工場建て替えなど建設仮勘定が増加
- ▶ 需要期に向けて自動車電池（国内）や産業電池電源で在庫が増加

	2023/3末	2023/6末
自己資本比率	42.6%	42.9%
借入金総額	1,037億円	1,004億円

4. トピックス

中国拠点の整理について

譲渡の理由

▶中国事業の経営環境の変化

1. 環境規制の強化
2. ゼロコロナ政策とその解除などで大きな変化に直面

社名	天津杰士電池有限公司 (TJGS)	湯浅蓄電池 (順徳) 有限公司 (YBSD)
設立	1991年11月	2002年2月
所在地	中国天津市天津経済技術開発区	中国広東省佛山市順徳区
事業内容	自動車用鉛蓄電池の製造販売	自動車用鉛蓄電池の製造販売 およびオートバイ用鉛蓄電池の販売
出資者 出資比率	変更前 株式会社 GSユアサ 92.5%	変更後 22.5%
	広東湯浅蓄電池有限公司 (GSユアサ100%子会社) 7.5%	7.5%
譲渡金額 (概算)	約 9.5 億円 (49百万元)	約 30.8 億円 (158百万元)

Leoch Battery にTJGS・YBSDの株式持分 **70%**譲渡



持分法適用会社に移行

社名	Leoch Battery Company Limited (Leoch International Technology Limited 100%子会社)
設立	2007年4月
所在地	香港
事業内容	投資管理及び電池の販売

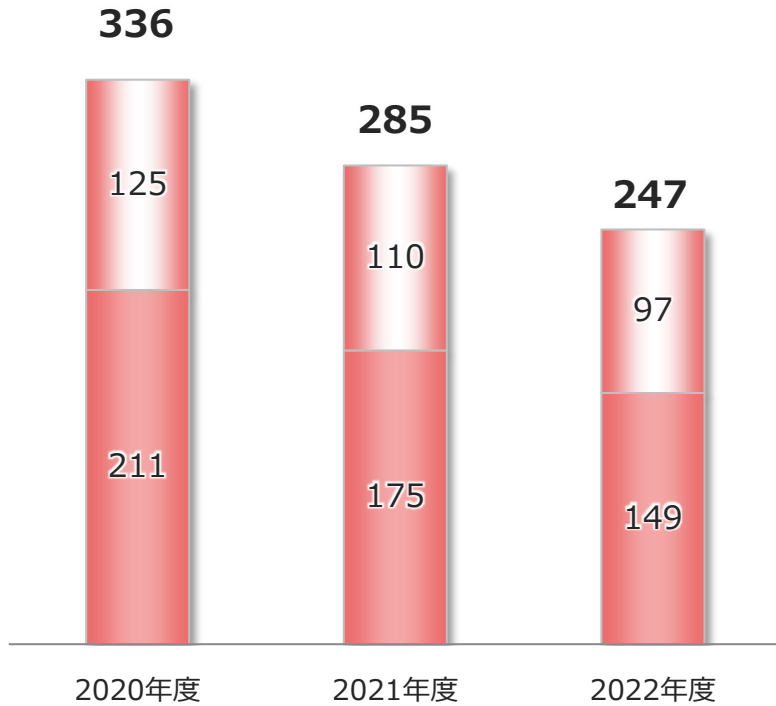
**技術支援は継続しつつも経営権を譲渡することが
TJGS、YBSDにとって最も有益な選択肢**

4. トピックス

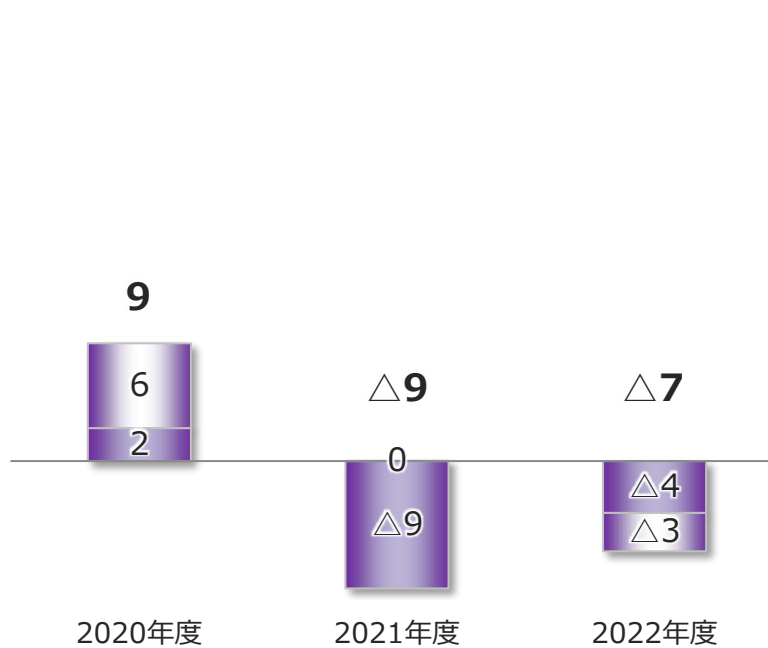
TJGS・YBSDの
売上高・営業利益・当期純利益

(億円)

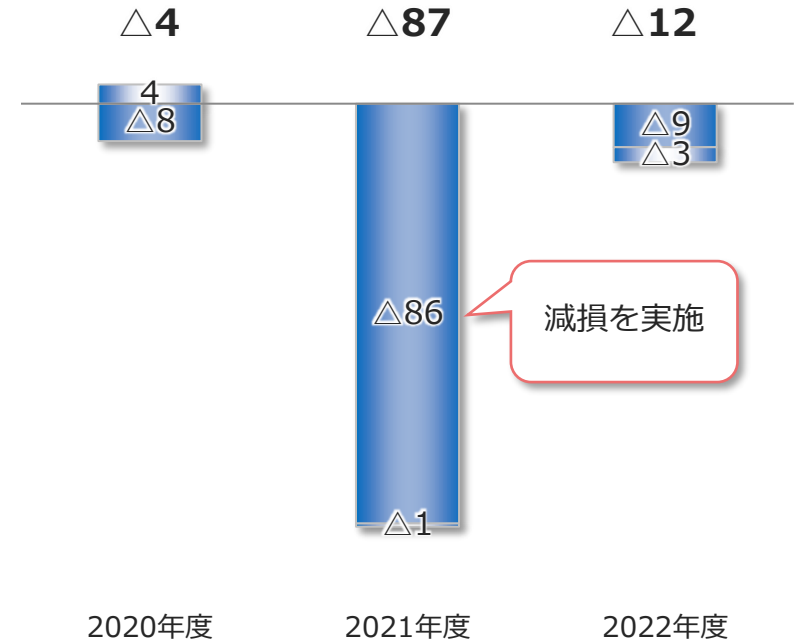
《売上高》



《営業利益》



《当期純利益》



	売上高	営業利益	当期純利益
YBSD	■	■	■
TJGS	■	■	■

本資料は、当社グループの業績等についての一般的な情報提供を目的とするものです。本書に含まれる予測、予想、計画その他の将来情報は、当社において利用可能な情報に基づく現時点における当社の認識又は判断に基づくものであり、実際の結果はこれらの情報と大きく異なることがあります。また、当社は、本資料に記載された情報に変更又は更新があった場合にも、その内容を提供又は開示する義務を負うものではありません。

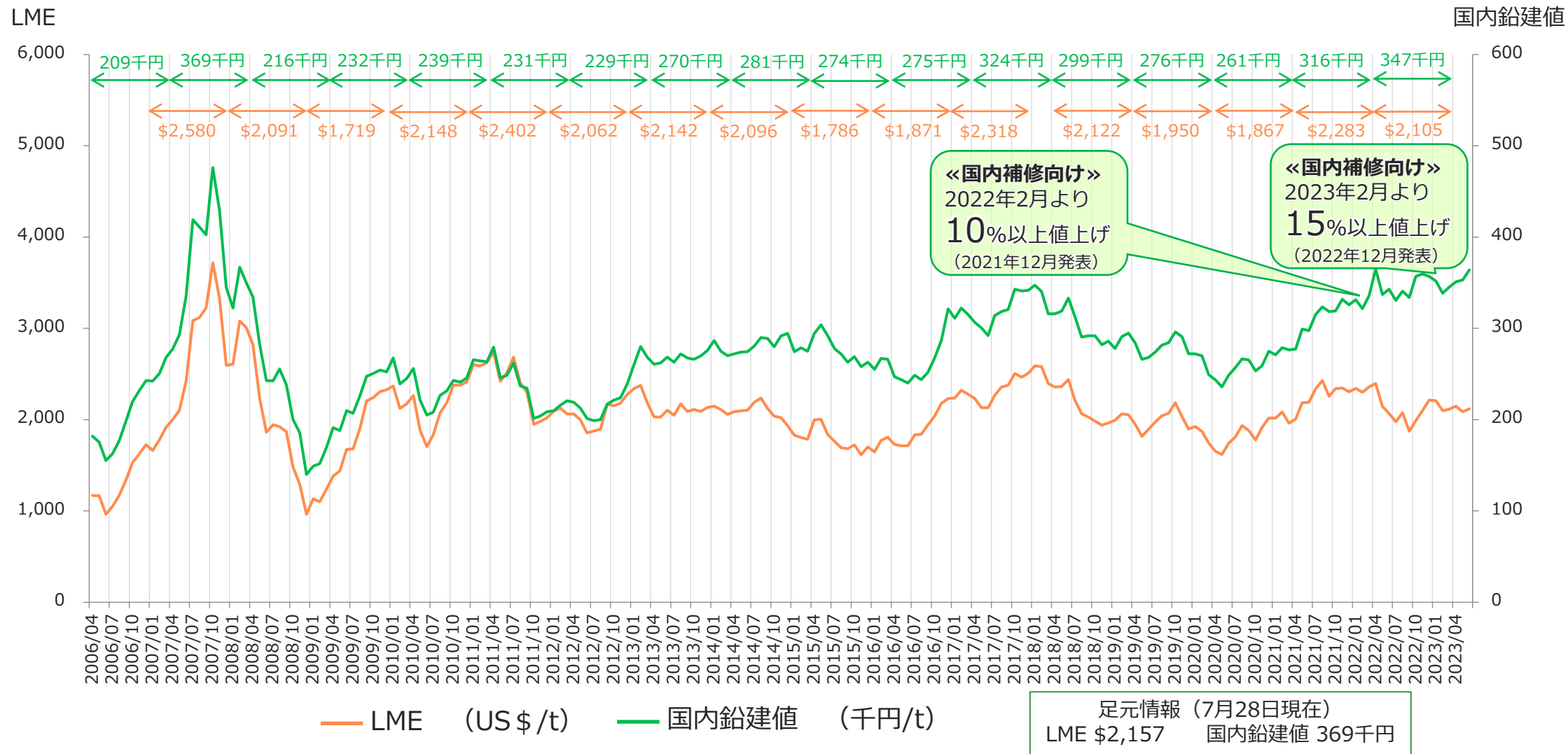


連絡先

株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション
コーポレート室（広報） 青木 裕・西島 務・田中 祥太・神田 文
Tel : 075-312-1214
<https://www.gs-yuasa.com/jp>

參考資料

原材料価格の推移



セグメント別業績の四半期推移

(億円)

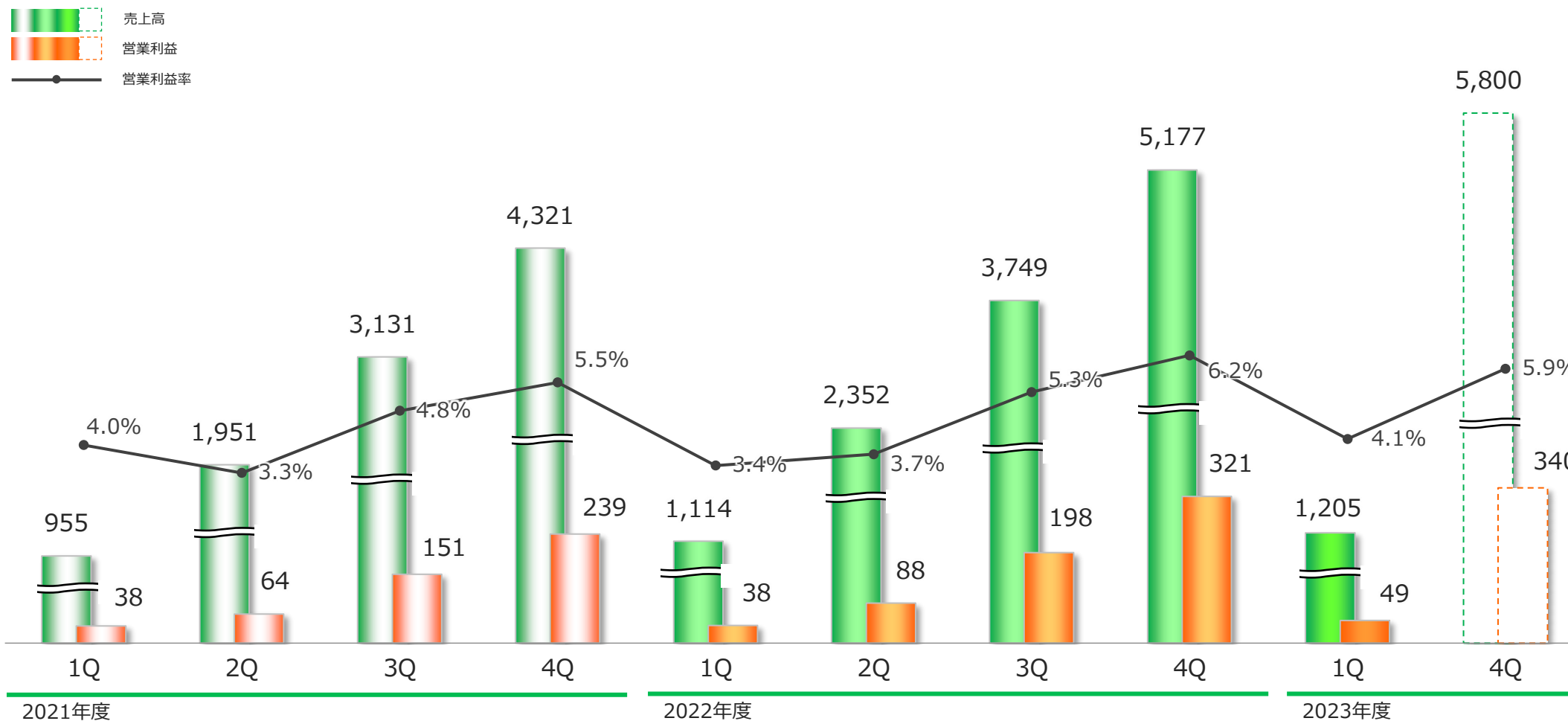
		2022 年度										2023 年度											
		第1四半期 (4-6月)		第2四半期 (7-9月)		第3四半期 (10-12月)		第4四半期 (1-3月)		通期 (4-3月)			第1四半期 (4-6月)		第2四半期 (7-9月)		第3四半期 (10-12月)		第4四半期 (1-3月)		通期見通し (4-3月)		
		売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	EBITDA (EBITDA マージン:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	売上高	営業利益 (利益率:%)	EBITDA (EBITDA マージン:%)
		自動車電池	国内	177	10 (5.4)	200	8 (4.0)	255	25 (9.7)	247	23 (9.4)	878	65 (7.5)	92 (10.5)	196	10 (5.2)	-	-	-	-	-	-	940
海外	600		30 (5.0)	619	31 (5.0)	651	41 (6.3)	604	31 (5.2)	2,473	133 (5.4)	201 (8.1)	584	28 (4.7)	-	-	-	-	-	-	2,520	150 (6.0)	-
産業電池電源		170	△5 (△3.1)	229	12 (5.4)	268	27 (10.2)	321	53 (16.5)	992	88 (8.9)	106 (10.6)	179	2 (0.8)	-	-	-	-	-	-	1,110	90 (8.1)	-
車載用リチウムイオン電池		124	4 (3.1)	150	△2 (△1.3)	179	8 (4.4)	201	10 (5.0)	654	20 (3.0)	61 (9.3)	195	4 (2.2)	-	-	-	-	-	-	1,030	40 (3.9)	-
特殊電池およびその他		44	0 (0.2)	40	0 (0.8)	44	9 (19.9)	56	5 (9.6)	180	14 (7.7)	71 (39.4)	52	6 (10.9)	-	-	-	-	-	-	200	5 (2.5)	-
合計		1,114	38 (3.4)	1,238	49 (4.0)	1,397	110 (7.9)	1,429	123 (8.6)	5,177	321 (6.2)	530 (10.2)	1,205	49 (4.1)	-	-	-	-	-	-	5,800	340 (5.9)	550 (9.5)

(注1) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。EBITDAはのれん等償却前営業利益+減価償却費です。

(注2) 2023年度より、従来「産業電池電源」に含まれていた一部の連結子会社について、「特殊電池およびその他」に変更しております。2022年度1Qは、変更後のセグメントにより記載しております。

売上高・営業利益・利益率推移

(億円)



(注) 営業利益はのれん等償却前営業利益、営業利益率はのれん等償却前営業利益率です。